

# 第1部 計画の推進

基本構想を推進し、将来像を実現していくためには、少子高齢化と人口減少、市民ニーズの多様化、厳しい財政状況などを踏まえながら、取組を進めていく必要があります。

このため、第六次釜石市総合計画においては、市民と行政による協働のまちづくりを進めるとともに、相乗効果を生む多様な連携と交流の推進を図り、徹底した行財政改革を進め、社会情勢や経済状況の変化に対応できるまちづくりに努めます。



# 第1部 計画の推進

## 1 全市民参加でつくるまち

### 2030年のありたい姿

市民一人ひとりが地域が抱えている課題や問題等を自分ごととして捉え、年齢、性別、職業、生き方、働き方、ハンディキャップの有無に関わらず、多様な価値観と個性をともに認め合い、立場や役割、世代間を超えた多様なつながりで、市民と行政がお互いの立場を尊重し、役割分担と強い信頼関係のもと、情報の共有と対話が活発に行われ、市民主体のまちづくりが進められています。

地域内での世代間交流が活発化され、昔から地域に根付く郷土芸能や地域行事等の継承を通じて、地域に生きる子どもを含めた地域を担う後継者の育成が行われています。

### 施策の体系

全市民参加で  
つくるまち

みんなが参画できるまちづくりの推進

地域のアイデンティティ\*形成

### これまでの取組

- ・地域活動の活性化を図るため、各地区生活応援センターが主体となり、地域内の人材や資源を生かした取組や各種イベントを開催しているほか、町内会支援や地域イベントへの協力、地域の歴史や文化財の継承に努めています。
- ・市内8地区の各地域会議では、住民が主体的に地域課題について話し合い、交付金を活用してその解決に取り組み、地域の努力だけでは解決が難しい課題等について、行政に直接地域の意見を伝えています。
- ・地域全体で児童生徒の成長を見守り、地域住民と学校が相互に連携することでより厚みのある地域活動と学びの機会を創出する取組を行っています。
- ・社会福祉協議会やNPO等の支援団体と連携しながら、被災地区におけるサロン活動や見守り活動などを実施し、被災者の心のケアを行っています。



かまいし未来づくり委員会によるまちづくりに関するワークショップ



## 現状と課題

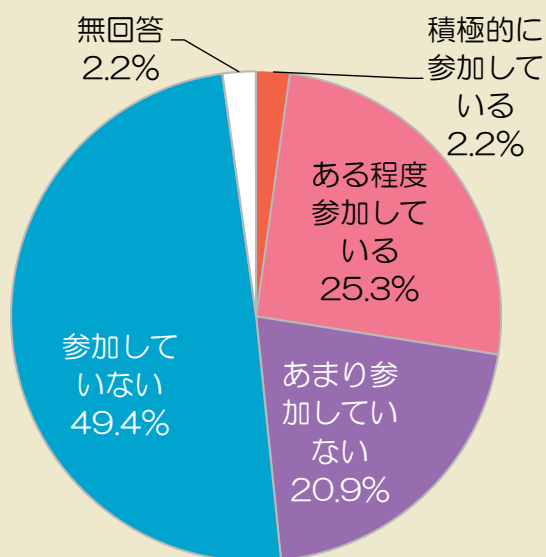
- 安心して住み続けられる地域づくりのため、「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、地域のあらゆる市民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティの形成が求められています。
- 人口減少や少子高齢化に伴い、町内会等地域活動の主体となる組織の担い手不足、後継者不足が生じているほか、震災後整備した復興公営住宅の自治組織が未設置の箇所もあり、将来に向けて持続可能な地域づくりを進めていく必要があります。
- 被災者の心のケアやコミュニティの形成支援等、引き続き復興の取組を継続していくことが求められています。
- 防災、災害時要援護者対策、地域イベントの再興、見守り活動の組織化など地域住民による主体的な活動が広がりつつある一方で、今後も更にソフト面の事業実施を通じた地域力の向上、地域コミュニティの強化に向けた取組を進める必要があります。
- 地域と学校との交流活動を通じ、地域に求められる人材を育成していくため、「学校を核とした地域づくり」や「地域を活用した学校教育」を進め、地域住民が楽しさを感じ、児童生徒が地域との関わりで学ぶ喜びを実感できる取組を進める必要があります。

基本計画

計画の推進

## 統計データ

### ■ 現在、まちづくり活動に参加している割合



資料 / 釜石市「次期釜石市総合計画策定に係るアンケート調査」(令和元年度)

# 第1部 計画の推進

## 1 全市民参加でつくるまち

### 主な施策

#### 1-1 みんなが参画できるまちづくりの推進

##### 1 地域活動の場の充実とまちづくり団体の連携

- 全ての人が生き生きと活動できるように、行政、住民、地縁組織\*及びNPO等が連携して、支援・協力体制を構築していきます。
- 効率的で持続可能な町内会、自治会の運営に努め、必要に応じて外部団体との連携強化を図ります。

##### 2 人材の育成

- 地域づくりへの参加促進に努め、地域に愛着を持ち、地域活動を牽引する、地域に貢献する人材の育成を推進していきます。

##### 3 地域コミュニティ強化

- 安心して暮らせる地域にするため、地域のつながりや活力が感じられるコミュニティの形成を推進します。
- 復興公営住宅における課題解決や住民によるサロン活動\*など、心のケアにつながる支援活動の実施に努めていきます。

##### 4 地域活動の推進

- 地域会議を核とした市民主体のまちづくりに対する支援を行います。
- 地域の清掃活動や草刈、避難訓練などに若者から高齢者まで参加できる環境づくりに努めていきます。
- 郷土芸能や若者の創意あふれる文化芸術活動、スポーツなど、地域の多様な取組を生かした地域活動を推進します。
- 地域社会の課題解決に取り組む団体の資金調達を行う仕組みを構築するとともに、積極的にCSR活動\*を行う企業と連携し、事業を展開します。

## 1-2 地域のアイデンティティ形成

### 1 地域文化や郷土芸能の普及啓発・継承活動の推進

- ・各地域に受け継がれてきた郷土芸能や地元文化が感じられる行事などの普及啓発、継承活動を推進していきます。
- ・地域行事の継続、地域文化の体験機会の提供、郷土芸能を披露する場の創出などに努めます。

### 2 地域資源の掘り起し

- ・地域内の自然・歴史・文化を掘り起し、特色や魅力を再発見できる学習の推進を図っていきます。
- ・広い視野から地域資源を見る目を養い、他地域との交流などに寄与する人材、地域文化の語り部の育成に努めます。

### 3 世代間交流の促進

- ・子どもから高齢者まで、世代を超えたつながりを作り、ともに学び成長する機会を創出していきます。
- ・地域の子どもたちをみんなの手で、知恵を持ち寄り育てていく取組を進めます。

### 4 地域内外の交流の推進

- ・U・Iターンや各地域からのボランティア、移住者、他地域に居住する釜石出身者とのイベントや交流を推進し、釜石の魅力を再認識し、発信していく環境づくりに努めます。

## 施策の成果指標

| 指 標                 | 現状値<br>(令和元年7月) | 目標値<br>(令和7年度)                                                                              | 目標値<br>(令和12年度) |
|---------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 現在、まちづくり活動に参加している割合 | 48.4%           |  55.0% | 63.4%           |

指標設定の考え方：協働によるまちづくりを推進するためには、まちづくりに対する自らの参画意欲と意識付けを高める必要があるため。

# 第1部 計画の推進

## 2 多様な連携と交流によるまち

### 2030年のありたい姿

復興のプロセスを通じて得たつながりが継続され、歴史が育んだ文化的土壌と様々なネットワークを生かしながら、釜石に暮らす、釜石に関わる可能性が最大化されるとともに、良質な地域内外の交流を通じて、特色ある人口減少対策と先を見据えた先駆的な取組（オープンイノベーション）が創発する自立的サイクルが構築され、活力に満ちあふれています。

地域の持続的な発展を図るため、豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新しい交通ネットワークなどを活用し、周辺自治体をはじめ様々な連携により、生活圏を越えた多様な交流が図られ、国内外に開かれた三陸の交流拠点として地域の魅力を高める一体的な取組が行われています。

### 施策の体系

多様な連携と  
交流によるまち

多様な人材・機会の還流

世界とつながる三陸の交流拠点

### これまでの取組

- ・東日本大震災後は、復興支援員である釜石リージョナルコーディネーター（釜援隊）や起業型地域おこし協力隊\*、行政型地域おこし協力隊\*、地域おこし研究員\*、地域おこし企業人\*など、外部人材を受入れ、地域内外のつながりを育み、人口減少の緩和を図るとともに、活力あるまちづくりの実現を目指してきました。
- ・平成31年、公式認証団体であるオランダのGreenDestinationが選定する「世界の持続可能な観光地100選\*」へ国内で初めて当市が選出され、観光の視点でも持続可能なまちづくりを推進しています。
- ・ラグビーワールドカップ2019™日本大会岩手・釜石開催を契機として、飲食店のメニューの英語表記化や指差しシート、Wi-Fi\*環境の整備、観光施設や災害時の避難誘導看板の多言語表記など外国人旅行者の受入れ態勢の充実に向けたインバウンド\*対策を講じてきたほか、青少年を中心とした国際交流事業に継続的に取り組んでいます。

### 現状と課題

- ・未来にわたって、人・物・資金・情報などが釜石に還流し続ける仕組みを構築するには、地域のありたい姿を示すとともに、多様な関わり方の提示とその意味付けを絶えず更新していく必要があります。
- ・国際交流の推進に向けては、訪日外国人や市内在住外国人の多様なニーズ・困りごとの解決に向け、外国人相談窓口の開設や定期的な意見交換、多言語に対応した情報発信を推進する等、外国人がいち早く地域に溶け込み、その一員として安心して生活できる環境整備に取り組む必要があります。





## 主な施策

### 2-1 多様な人材・機会の還流

#### 1 人材を還流させるまちの人事部機能の構築

- ・釜石との多様な関わり方（インターンシップ\*、域内大学との連携、首都圏在住者を対象とするプロボノ\*・兼業・副業、地域でのキャリア形成）の可能性を可視化し、積極的に情報発信をしていきます。
- ・市内企業の魅力ある求人の発掘・可視化と、都市部人材の呼び込み・マッチングを担う民間の運営推進主体を確立していくことで、地元出身者を含めたU・Iターン就職を促し、地場産業の振興につなげていきます。

#### 2 官民共創によるオープンイノベーション\*

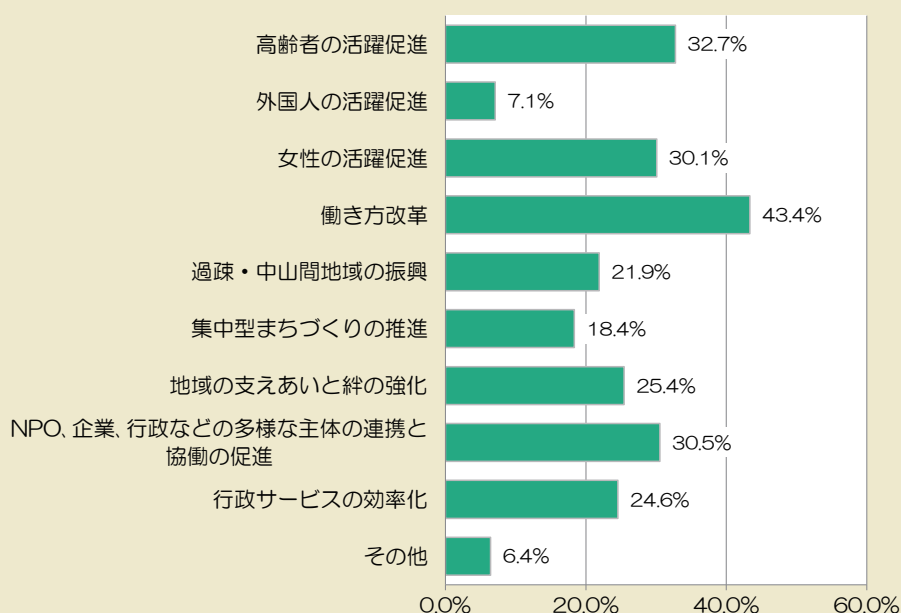
- ・ふるさと寄付金を活用した官民共創\*・SDGs推進プラットフォームを構築することで、市外のつながり人口や企業を巻き込みつつ、地域社会の課題解決に取り組む市内団体の資金調達を支え、官民共創によるプロジェクト創出を目指します。
- ・地域おこし企業人や企業版ふるさと納税\*制度を積極的に活用し、都市部企業とのパートナーシップを推進します。

#### 3 経済発展と社会的課題の解決を両立する取組の推進

- ・IoT（モノのインターネット）\*やAI（人工知能）\*等を活用した社会の変革を通じて、様々な社会課題を解決する社会（Society5.0\*）をはじめ、新しい価値やサービスの創造を目指していきます。

## 統計データ

### ■ 人口減少社会に適応するために必要な対策（複数回答）



資料 / 釜石市「次期釜石市総合計画策定に係るアンケート調査」(令和元年度)

# 第1部 計画の推進

## 2 多様な連携と交流によるまち

### 2-2 世界とつながる三陸の交流拠点

#### 1 多文化共生\*の推進

- ・訪日外国人や市内在住外国人の多様なニーズ・困りごとの解決に向け、相談体制の構築や多言語に対応した情報発信等に努めるとともに、市民と外国人がともに文化的違いを認め合い、生活できるまちづくりを進めます。
- ・ラグビーワールドカップ2019™日本大会岩手・釜石開催で培った、訪日外国人を歓迎する姿勢を継承し、思いやりの気持ちでおもてなしができ、世界に開かれ、世界とつながる拠点都市を目指し取り組みます。
- ・いのちをつなぐ未来館を核とし、アチェ津波博物館や太平洋津波博物館と連携するなど、世界的防災教育の向上に努めます。
- ・中学生の海外体験交流事業を継続し、異文化交流を通じて、次世代を担う若者の多様な文化への理解を促進します。

#### 2 ダイバーシティ&インクルージョンの推進

- ・女性や高齢者、LGBT（性的マイノリティ）\*、外国人労働者、障がい者など一人ひとりの個性が尊重され、能力が発揮できるダイバーシティ（多様性）\*とインクルージョン（包摂）\*のある社会の実現を目指します。

#### 3 広域連携の推進

- ・将来に向けて魅力ある三陸地域を創っていくため、広域的な取組により、より効果的で効率的なサービスの提供に向けた取組を推進します。
- ・広域的な諸課題について、国や県、県内外の自治体と連携を強化しながら取組を進めます。

#### 施策の成果指標

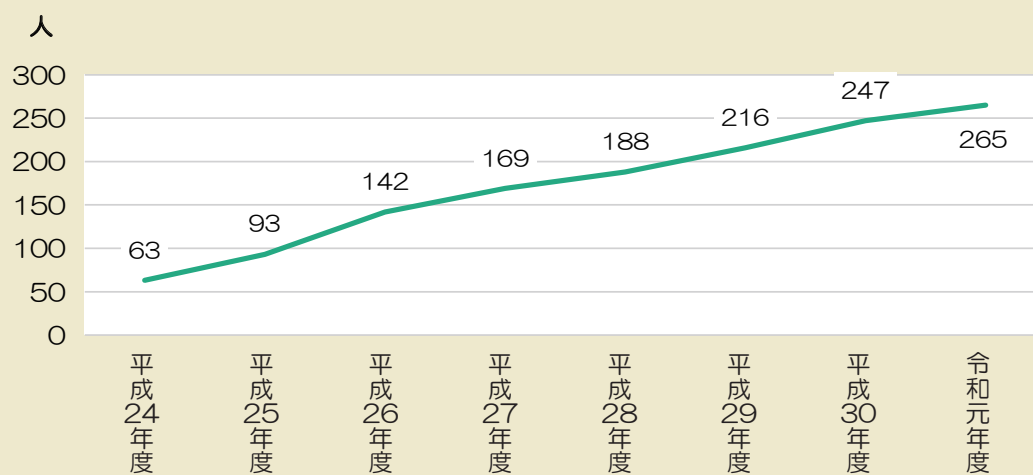
| 指 標                          | 現状値<br>(令和2年度) | 目標値<br>(令和7年度)                                                                              | 目標値<br>(令和12年度) |
|------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 市内在住外国人が釜石での生活に対して満足と感じている割合 | 55.7%          |  65.0% | 70.0%           |

指標設定の考え方：多様な連携によるまちづくりを推進するためには、国籍や人種等に関係なく、全ての市民が安全・安心に暮らせる多文化共生社会を形成する必要があるため。



## 統計データ

### ■ 在住外国人の推移

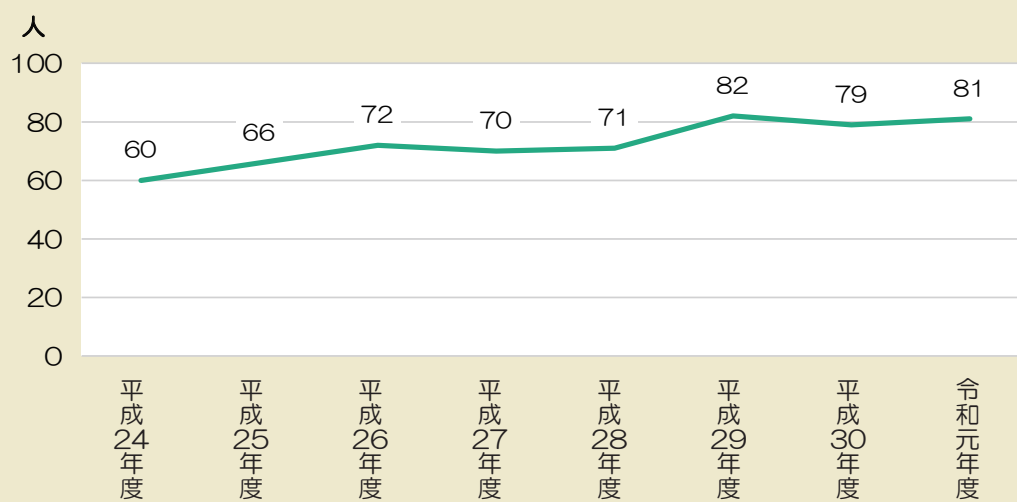


資料 / 釜石市

基本計画

計画の推進

### ■ 市国際交流協会会員数の推移



資料 / 釜石市

# 第1部 計画の推進

## 3 効率的・安定的な 行財政運営ができるまち

### 2030年のありたい姿

限られた経営資源を最大限有効に活用するマネジメントが最適化され、機能的な政策決定と庁内横断的な取組が展開され、政策の着実な推進と市民の多様なニーズに応える満足度の高いサービスが提供されています。

また、選択と集中により、事業の重点化による適正な資源配分や自主財源の確保に向けた取組などにより、健全な財政運営が行われ、適切な公共施設の環境のもと、最適な公共サービスが提供されています。

変化していく社会情勢に対応しながら、地域の課題解決に向けて、高い先見性とグローバルな視点を備え、三陸・全国・世界の中の釜石を意識しながら、職員の外部登用の多様化による職員の資質向上に向けた取組が推進されています。

### 施策の体系

効率的・安定的な  
行財政運営が  
できるまち

行政サービスの最適化と利便性向上

行政運営を支える職員の人材育成と組織づくり

財政の健全性の確保

### これまでの取組

- ・東日本大震災からの復旧復興に向け、既存施設機能の早期復旧、フロントプロジェクト\*を中心とした新たな公共施設等の整備を行ってきました。
- ・限られた職員、予算、勤務時間の中で、職員一人ひとりが持てる能力を最大限に発揮することができるよう、業務の棚卸\*による行政内部の効率化を図っているほか、外部から講師を招いた研修の実施や人事評価制度の導入など、組織で職員を育てる意識改革と職場環境づくりを進め、市民とともに自立した地域の将来を担う職員の育成に取り組んでいます。

### 現状と課題

- ・人口減少に伴って財政規模の縮小が見通される中、職員定数の適正化、固定経費の圧縮等による健全な財政運営と社会の変化に応じた公共サービスの提供が求められている一方で、公共施設などの維持管理費が増大しているほか、台風や集中豪雨等自然災害の多発により、道路や河川の維持補修や改良、安全対策に要する費用負担の増加が懸念されています。
- ・社会の変化に応じた公共サービスの提供や施設の安全性の確保、財政負担の低減・平準化が求められていることから、市民や民間企業と行政が、公共施設等の整備や管理、有効活用などの方向性や取組について、ともに考え実践していくことが必要です。
- ・変わりゆく時代に応じた情報通信技術の導入、民間活力の活用による業務体制の改善や効率化に努め、職員一人ひとりの生産性を向上させることが必要になります。また、労働人口の減少が懸念される中、これまでの人材育成に係る取組を一層強化する必要があるほか、「働きがい」や「働きやすさ」にも十分な配慮をした、柔軟な組織づくりが必要となります。

## 主な施策

### 3-1 行政サービスの最適化と利便性向上

#### 1 市民サービスの質の向上

- ・人工知能（AI）などの情報通信技術（ICT）の活用により、市民の利便性の向上を図ります。
- ・公共調達の最適化、適切な行政情報の提供等により行政の透明性を確保していきます。

#### 2 戦略的で実効性のあるマネジメント改革の推進

- ・事業を効率的かつ効果的に実施するため、PDCAサイクル\*の徹底を図ります。
- ・業務プロセスの可視化による効率的な業務遂行や事務処理の適正化・透明性を確保していきます。

#### 3 新市庁舎の整備

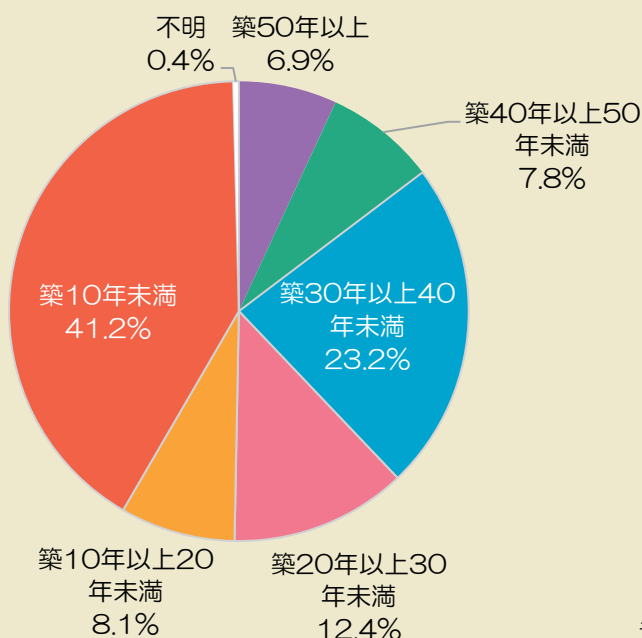
- ・現市庁舎の課題である「老朽化」「耐震性の不足」「庁舎の分散」等を解消しつつ、被災地復興のシンボルとして、①災害に強い「強靱な庁舎」、②「みんなのホール」から広がる「防災と交流」、③市民を優しく迎える「ピロティ\*」を設計コンセプトに新市庁舎を整備します。

#### 4 公共施設マネジメントの推進

- ・安全で適切な環境を持った施設の管理運営と財政負担の低減・平準化といった総合的かつ計画的なマネジメントを進め、社会状況の変化に応じた適切な施設サービスを提供します。

## 統計データ

### 建築系公共施設の老朽化状況



資料 / 釜石市

# 第1部 計画の推進

## 3 効率的・安定的な 行財政運営ができるまち

### 3-2 行政運営を支える職員の人材育成と組織づくり

#### 1 変化に対応できる組織編成と人材育成

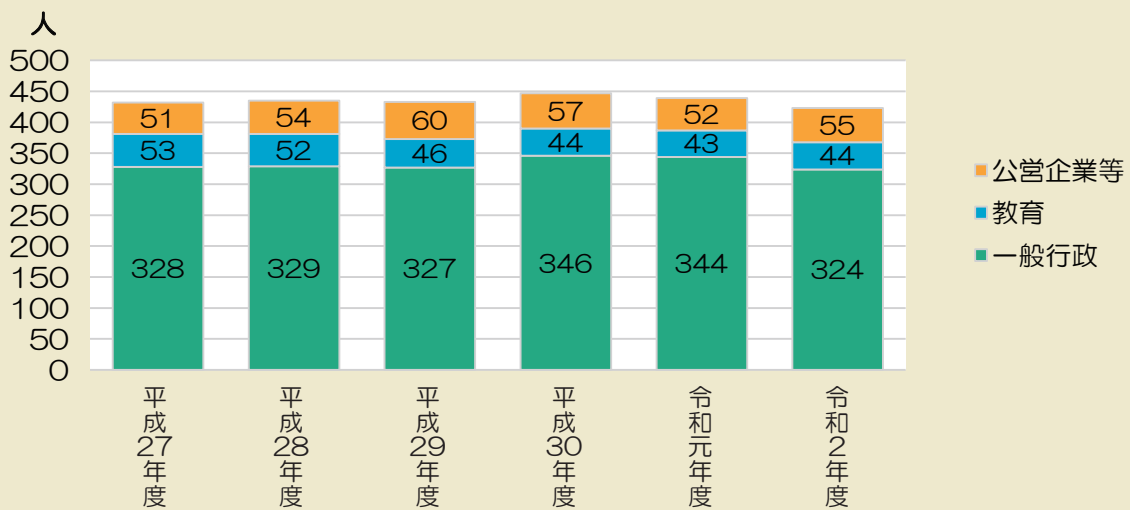
- 高度化・多様化する市民ニーズや社会情勢に対応できる体制を整えるため、業務の一部を外部委託するアウトソーシングや、柔軟に対応できる高い意欲と能力を持った職員の育成を進めます。
- 能力開発研修等で得られた経験やスキルを職場で還元することにより、組織力を高め、一丸となって成果を発揮できる組織風土の醸成に取り組みます。
- 市（公）・地縁団体等（共）・民間（私）の三者が協力しあって市民の暮らしを支えていくため、新しい公共私相互間の協力関係を構築し、マネジメントを行うプラットフォーム・ビルダー\*たる人材の育成を推進します。

#### 2 効率的で柔軟な働き方の推進

- 業務の効率的な実施や柔軟な働き方の推進により、仕事と生活の調和を図り、職員が明るく、生き生きと働くことができる職場環境を実現します。
- 職員一人一人の働き方改革の取組を評価、奨励し、組織全体で生産性を向上させていきます。

#### 統計データ

##### 部門別市職員数の推移



資料 / 釜石市

### 3-3 財政の健全性の確保

#### 1 安定的な財政運営の構築

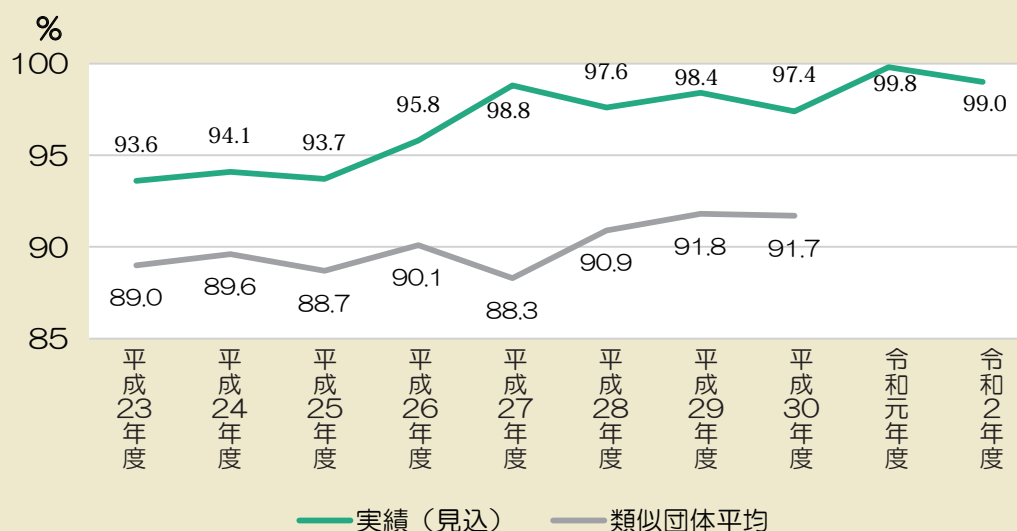
- ・中期的な財政見通しに基づき、適正な公債費負担を図るとともに、人件費等の義務的経費の圧縮などをはじめとした行財政改革を継続していきます。
- ・事業効果や必要性、効率性を検証し、事務事業を厳しく精査するなど一層の「選択と集中」により、徹底した歳出の見直しを行います。

#### 2 安定した収入の確保

- ・税に関する意識の向上と情報の発信を行いながら、適正な課税・徴収を行い、行財政運営の基盤となる税収の確保を図ります。

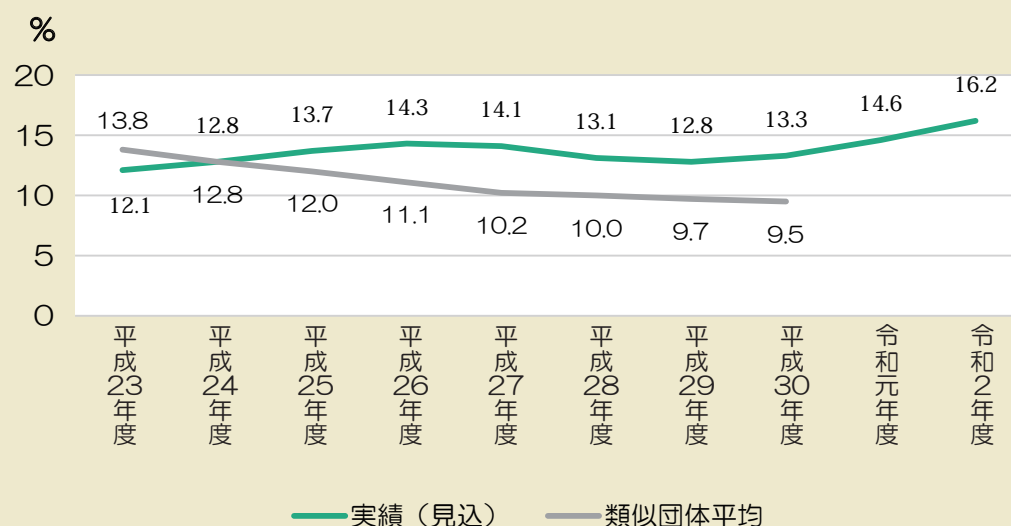
#### 統計データ

##### ■ 経常収支比率の推移



資料 / 釜石市

##### ■ 実質公債費比率の推移



資料 / 釜石市

# 第1部 計画の推進

## 効率的・安定的な 行財政運営ができるまち

### 施策の成果指標

| 指 標      | 現状値<br>(令和元年度) |   | 目標値<br>(令和7年度) | 目標値<br>(令和12年度) |
|----------|----------------|---|----------------|-----------------|
| 経常収支比率*  | 99.8%          | ▶ | 93.5%          | 91.7%           |
| 実質公債費比率* | 14.6%          | ▶ | 8.8%           | 8.8%            |

指標設定の考え方：財政の健全性の確保を図るためには、経常収支比率と実質公債費比率を類似団体の平均値に保つ必要があるため。

|                |       |   |       |       |
|----------------|-------|---|-------|-------|
| 定員管理による適正な人員確保 | 439 人 | ▶ | 370 人 | 345 人 |
|----------------|-------|---|-------|-------|

指標設定の考え方：最少の経費で最大の効果を発揮できる「効率的でスリムな市役所」を目指すためには、時代にあった執行体制の整備と職員数の最適化を図る必要があるため。

|         |       |   |       |       |
|---------|-------|---|-------|-------|
| 女性管理職比率 | 19.0% | ▶ | 25.0% | 30.0% |
|---------|-------|---|-------|-------|

指標設定の考え方：様々な政策・施策の構築に男性・女性それぞれの意見を反映させるためには、あらゆる分野の意思決定過程に男女が参画する必要があるため。

|            |                      |   |                       |                       |
|------------|----------------------|---|-----------------------|-----------------------|
| 男女別育児休業取得率 | 男性 0.0%<br>女性 100.0% | ▶ | 男性 10.0%<br>女性 100.0% | 男性 15.0%<br>女性 100.0% |
|------------|----------------------|---|-----------------------|-----------------------|

指標設定の考え方：ワーク・ライフ・バランスの実現は、優秀な人材の確保・定着につながり、職場内で業務の改善や働き方の見直しが行われることで、市民サービスの向上等も期待できるため。